

えんちょう先生の わくわくだより NO. 30

2/27

最後のすいすいあそぼうデー

千ビッ子先生、ありがとう！

2/27

今日は、今年度最後の「すいすいあそぼうデー」です。事前に年長さんがグループを決め、小さい子達に何を教えてあげようか？を考えて、それぞれに練習をしてくれた様です。遊戲室に集まった小さい組の子の前で、グループ毎に立って「もも組で紙飛行機を折ります来て下さい」とクラス毎の出し物を紹介してくれました。かぶとの帽子はさくら組、ゆり組は、飛び出す絵本作り、たんぽぽ組はけんだま作り、ひまわり組は新聞でバックとさいふを、そしてすみれ組は、マラカス作り・・・となりました。一足先にその部屋の準備に行った年長さん。小さい組の子は、「何を作ろうかな？」と考える時間となりました。さて、準備OK！ニコニコと、各部屋に散っていったみんなでした。

最初の部屋をのぞくと扉に貼った飛行機の見本を指差して、「紙飛行機が貼ってあるで見てくださ〜い」「どれがいいの？」「これは〇〇君のそばに行って」と張り切って小さい子を誘導する年長さんの声が聞こえます。他のクラスでも「ちょっと、ゴミは自分で捨ててきてくださいね。」「ここを押さえてね」「カップは3ついるよ」「ちょっとやってみ」・・・と小さい子に丁寧な声を掛ける年長さんの姿がありました。中には、小さい子の指を持ってくるくと動かし、糊の付け方を教えてくれる子、ちょっと暇になったからと「〇〇作りに来てくださ〜い」と廊下に出て、呼び込みに出かける子も。こんな時にはいつも聞いたことの無い位、大きな声が出てびっくりです。手のすいた年長さんは、見学中の未満児組の子のおもちゃも作ってくれました。こどもは、当てにされると随分ちからがでるものだなあと感心。勿論、担任の先生が丁寧に、取り組みを指導してくれたと思うけれど、こどもは、責任を持って自分達でやっていく事は、とても楽しくって、勘考をし、教えた小さい子の嬉しそうな顔に又自信や、やる気をもらっていくのだと思います。小さい組の子達も、こうした経験を又来年度の遊びにつないで行ってくれる事でしょう。年長組の部屋をのぞいて、「年長さん、今日は上手に遊んでくれてありがとう。あんまり上手で、学校に行かずに、もうちょっとこども園にいてくれない？」に「え！」「いやだ〜！」のみんなに、笑えました。今日は、みんなの楽しい遊びの一日となりました。明日は、年少さんがポップコーンパーティに招待してくれるね。楽しい事がいっぱいの毎日です。



未満児さんも仲間入りです。



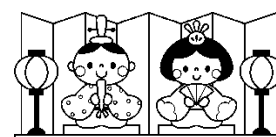
ここを持ってね



ぼくもやりたくなっちゃた〜



かんせい！



みんなの笑顔があっちでもこっちでも・・・